

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和07年02月05日						
計画の名称	北部九州地域における半導体・自動車産業活性化計画（重点）													
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	大分県													
計画の目標	九州の半導体関連・自動車産業は、輸出額の約4割を占める基幹産業であり、九州北部を中心に、半導体関連はIC（集積回路）が国内生産額の54.7%を占め、自動車では年間154万台の生産能力を持つなど、近年著しく成長している。 半導体関連産業では、世界的半導体企業であるTSMC日本初の工場が2024年2月に熊本県において開所し、第2工場も隣接地への建設が決定している。さらに、「後工程」世界最大手のASEが、福岡県への進出を検討しており、今後さらなる集積が見込まれる。自動車産業では、トヨタ自動車と日産自動車の電気自動車(EV)向け蓄電池工場が福岡県にそれぞれ新設されることとなっており、半導体と連携することで、電気自動車(EV)産業のサプライチェーン強靱化が見込まれる。これにより、北部九州は、自動車産業の重要な拠点となり、世界に選ばれる電動自動車(EV)の開発・生産拠点の形成に向けた企業誘致や地元企業の電気自動車分野への参入が見込まれる。 九州圏広域地方計画の広域連携プロジェクト「九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト」に寄与する産業拠点と広域的な物流結節点（空港・港湾・高速道路IC・貨物ターミナル駅）との相互アクセス性を向上することで、物流の効率性を高め、九州北部における産業経済活動の国際競争力を強化し、地域の自立を促進させる。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,918	A	1,918	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	-	R11
1	【福岡県・大分県・熊本県 共通目標】 製造品出荷額等194,100億円(R4)から203,200億円(R11)に増加（9,100億円（5%）の増加）			
	【福岡県・大分県・熊本県 共通目標】 製造品出荷額等の増加 （北部九州地域内の製造品出荷額等の増加率）＝（評価時点の製造品出荷額等－R4の製造品出荷額等）／（R4製造品出荷額等）	194100億円	億円	203200億円
2	【大分県 単独目標】大分県内（本計画対象地域のみ）の製造品出荷額等10,600億円(R4)から11,200億円(R11)に増加（600億円（6%）の増加）			
	【大分県 単独目標】大分県内（本計画対象地域のみ）の製造品出荷額等の増加 （大分県計画区域内の製造品出荷額等の増加率）＝（評価時点の製造品出荷額等－R4の製造品出荷額等）／（R4の製造品出荷額等）	10600億円	億円	11200億円
3	【大分県 単独目標】拠点施設間（大分北部中核工業団地～ダイハツ九州工場群）の日当り総アクセス時間を345時間・台/日短縮（345時間・台/日（5%）の短縮）			
	【大分県 単独目標】拠点施設間（大分北部中核工業団地～ダイハツ九州工場群）の日当り総アクセス時間の短縮（要素事業：A11-001,002） （総アクセス時間の短縮）＝Σ（（整備前のアクセス時間×日交通量）－（整備後のアクセス時間×日交通量））	0時間・台/日短縮	時間・台/日短縮	345時間・台/日短縮

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	（主）中津高田線 鍋島 工区	現道拡幅(4車線化) L=0.77 km	中津市	■	■	■	■	■	630	1.3	-
		R6年度まで道路事業で事業実施。R7年度より本計画で実施。九州周防灘地域定住自立圏																	
	A11-002	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	（主）中津高田線 江須 賀～金屋工区	バイパス L=0.5km	宇佐市		■	■	■	■	883	1.1	-
		R6年度まで道路事業で事業実施。R7年度より本計画で実施。九州周防灘地域定住自立圏																	
	A11-003	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	修繕	（主）中津高田線 宮熊 ～尾永井工区	舗装修繕 L=1.4km、A=8,200 m2	宇佐市	■	■	■	■	■	90	-	-
	A11-004	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	修繕	（一）宇佐インター線 山本工区	舗装修繕 L=0.7km、A=4,000 m2	宇佐市	■	■	■	■	■	43	-	-
A11-005	道路	一般	大分県	直接	大分県	国道	修繕	（国）213号 横田～岩崎 工区	舗装修繕 L=0.5km、A=5,200 m2	宇佐市	■	■	■	■	■	56	-	-	
A11-006	道路	一般	大分県	直接	大分県	国道	修繕	（国）387号 別府～中原 工区	舗装修繕 L=0.7km、A=8,000 m2	宇佐市	■	■	■	■	■	86	-	-	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域活性化事業	A11-007	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	修繕	（一）和気佐野線 和気 ～江須賀工区	舗装修繕 L=1.5km、A=11,00 0m2	宇佐市	■	■	■	■	■	130	-	-	
												小計						1,918		
												合計						1,918		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	88				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	88				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	66				
翌年度繰越額 (f)	22				
うち未契約繰越額(g)	10				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.36				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地取得における交渉難航のため				